



ハートのまち宣言

- は はじまりの地、南城は
あがりゆまじり
- あ あがりゆまじり 東四間切がひとつとなった特別な形
- と とわ 永遠につなげる感謝の祈り
- の 昇る朝日がみんなを照らし
- ま 交わり広げる支えあい
- ち 地域で育むハートのまち



ハートのまちづくり コンセプトブック



はじめに

ハートのまちに住むみなさんへ

南城市では、8月10日を「市民平和の日」として条例に定めています。南城市は「ハートのまち」。形だけではなく、市民一人ひとりの心が平和になり、お互いを助け合う、本当の意味での「ハートのまち」を目指したい。そんな想いを込めてこのコンセプトブックを作成しました。

本書は、南城市にかかわる私たち誰もが、ハートのまちを体現することに貢献できるよう、そのためのアイデアと実現の手順のヒントを盛り込んだ計画書となっています。ハートあふれるまちを実現するための理念と方針は記載されていますが、決められたアクションはありません。具体的に何をするかは私たち自身が決めて行動する。だからこそ、誰もが望む南城市の未来が生まれると信じています。本書を手にとっていただき、みなさんにも南城市の未来をつくることに関わっていただけることを願っています。

このコンセプトブックの使い方

この冊子は第1章「ハートのまち 未来創造」編と第2章「ハートのまちづくり計画」編の2部構成でできています。

「ハートのまち 未来創造」編では、市民の皆さんと一緒に考えたハートあふれた平和な南城市の未来像と、その未来を実現するためのアクションアイデアを4つの方針に分けて記載しています。記載されたアイデアを実現していただくことはもちろん、みなさんがハートのまちに貢献したいと思ったときにアイデアの参考にしてください。

「ハートのまちづくり計画」編では、みなさんがハートのまちを実現するにあたって指針となる基本理念と4つの方針を元にした計画が記載されています。計画には誰もが関わりやすいメニューが用意されていますので、みなさんのアイデアを実現するために活用いただきたいと思えます。

目次

第1章 ハートのまち 未来創造編

南城市のみなさんが描いた未来像	P.06
未来をつくるために、それぞれがやりたいこと、できること	P.08

第2章 ハートのまちづくり計画

計画の位置づけと方針	P.20
ハートのまちをつくるための計画の理念と方針	P.22
計画の推進	P.24
計画の体系図	P.26
それぞれのアクション(市民、行政、事務局)	P.28
これまでの歩み	P.32
ハートのまち これからの未来	P.34
評価・チェック方法(市民、行政)	P.36

資料

1. 与件・状況	P.40
2. 2016年度 計画づくりの過程	P.41
3. 計画づくりのための制作物	P.42
4. ワークショップ風景	P.46

あとがき	P.50
------------	------

第1章 ハートのまち 未来創造編

ハート+ハートでつなぐ
平和の花を咲かせよう!!

職業 主婦
年齢 30代
性別 (男・女)

笑顔が
みんなの笑顔

職業 主婦
年齢 30代
性別 (男・女)

地元の伝統行事が
好き。
宇江城 エイサー
つなひき
組踊...

まちを
きれいに
する
小学2

みんなが仲良く
なれる南城市
がいい♡
公園
5才



エイサー大ダイ
をもうてうれし!

こんな南城市に
なったらいいな!

居心地のいいまちをつくり、育む
**ハートがたくさん実る
まちにしよう!**

山や海をよびせが
で、単文争のかけこにしたい!!

職業 小学生
年齢 10歳
性別 (男・女)

名古屋から来たおばあちゃん
家に遊びに来て海に行ったとき
沖繩の子が友達になっ一緒
たくさん遊んでくれたので
また来年も来て一緒に
遊びたい!!

中学生 14歳/女

長岡小学校の
運動会で大太鼓を
打って踊ります。
成長を感じてうれしです。
リレーのアンダーもがんばれ!!

職業 主婦
年齢 32
性別 (男・女)

子ども達の未来が
明るく、元気な南城市に
なしてほしい♡

職業 会社員
年齢 21
性別 (男・女)

おまつり
おまつり
おまつり
おまつり

職業 主婦
年齢 56
性別 (男・女)

おいしいごはん
ありがとう
おいしいー!!



93才の母を姉が介護に
いる日々が、何も相談できる
姉弟愛に感謝です。

19才 女性

おともだちと
たのしみ
びたっ

職業 主婦
年齢 50代
性別 (男・女)



感謝
子どもが元気で育つと
自分自身も元気が湧いてくる
とき、ささえてくれていつも
笑顔で迎えてくれる
皆さんにありがとう

家族そろって
ご飯を食べて、
テレビを見て笑ったり、
たのしみな時間
幸せな時間

ありがとう

家族6人が健康に毎日
過ごせること。感謝!!
子どもたち・家族の笑顔
が明日へのパワーになる!!

職業 家事
年齢 43
性別 (男・女)

ハートの形で、
世界遺産があるところ
ともやしたい!!

職業 中卒
年齢 13才
性別 (男・女)

毎日忘れたら青い海が
見えないから毎日青い海を
見たい!!

居心地の良いまちをつくり、育むハートのまち

未来をつくるために それぞれがやりたいこと できること

南城市の市民のみなさんと行政との協働から、2016年度は多くのイベントとワークショップを開催しました。そこに参加したみなさんから、未来に向かっての自分たちにできることについての様々なアクションがあつまりました。

あなたは何を大切にしていますか？

南城市のみなさんから生まれたアイデアをご紹介します。



たたやす

～居心地の良いハートのまちとしての土壌をつくる～

- ・「ハートのまち」のまちづくりについて知る
- ・ハートの取り組みのアイデアを出す



うえる

～ハートのまちの土壌に取り組みの種を蒔き芽吹かせる～

- ・アイデアをプロジェクト化する
- ・アイデアを実施する



うるおす

～芽生えた種をみんなで育てる～

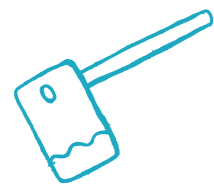
- ・プロジェクトを応援する
- ・プロジェクトの課題を解決する
- ・他者とながらプロジェクトを発展させる



てらす

～育てた取り組みが大きく育つように光をあてる～

- ・実施したプロジェクトを多くの人に知ってもらう
- ・実施したプロジェクトを称える
- ・「ハートのまち」をさらに広げる



たがやす

～居心地の良いハートのまちとしての土壌をつくる～

お母さんが 笑顔で過ごせるまち

お母さんのお手伝いをしたり、
感謝の気持ちを伝えたり、小さなことでも
お母さんが笑顔で元気で過ごせるように
何かできるといいね

手をつなごう

実際に手をつないだり、助け合ったり。
みんなの温かさが
まち全体に広がったら嬉しいな

なんじょう 子どもウマチー

子ども達と一緒に
農業や豊年祭を体験することで
食や生活文化を学べたら楽しそう

※ウマチーとは 麦や稲の初穂や収穫(豊作祈願)を祝うお祭りのこと。

感謝の気持ちをもとう

「ありがとう」って
いいあうと心がやさしい
気持ちになるね

みんなで子育て

誰の子どもとか関係なく
地域みんなで子どもたちのことを
気にできる地域って素敵だね

みんなでつくろう ハートの日(8月10日)

人の温かさを多くの人と共有したり、
大切な人と過ごしたり。
ハートの日の過ごし方は
誰かと一緒に考えることが大事だね

みんながつくる 安全で素敵な公園

誰もがみんなに少しの配慮。
子どもも大人も安全に過ごせる
素敵な公園が日常にあるといいね

ムラヤーに行こう

公民館を活用したり、地域のコミュニティに
参加したら地域の見え方がかわるかも!?
新しい人を快く迎えることも大事だね

※ムラヤーとは 琉球王国時代に各ムラ(現在の区・自治会)を管理するための行政機関で、重要な場所とされました。南城市では、先達がこれまで培ってきた「コミュニティ力」を原動力として、ムラヤーを活用した地方分権にふさわしい姿を進化させることを目標としています。

みんな集まれ! ゆんたく庭

ハートの木、ハートの噴水。
地域の子どもたちが集い、遊び交流できる。
素敵なゆんたく庭があったらわくわくするね

うえる

～ハートのまちの土壤に取り組みの種を蒔き芽吹かせる～

一人ひとりが まちをきれいに

みんなで草刈り、みんなで掃除。
みんなが大切な場所を
みんなできれいに保つことが大事だね

南城市の豊かさが味わえる 朝市

お野菜、お魚、あたたかい市民、
南城市のハートに出会える
豊かさいっぱいの朝市をやれたら
わくわくするね

窓口ハートサービス

ハート型の職員証や「ハートのまち
〇〇です」のご挨拶。役場や会社で
ハートのお出迎えがあったらおもしろい

みんなで挨拶

出会った人に元気よく挨拶をして、
たくさんの人と仲良くなれたらいいね

つくろう！ハートの道

ハートの標識や街灯にしたり、
道の名前もハートにしたり。
道路をハートでいっぱいに行けるといいね！

ハートをまちに インストール！

ゴミ袋やマンホールが
ハートのデザインなら楽しいね

まちを花でいっぱいに

自分のお家、みんなの場所、みんなが
花や木を植え、大切にすることで
自然と調和したまちに行けると素敵だね

一人ひとりが わくわくできることをしよう

お花や木を植えたり、
一人ひとりがわくわくすることを
やっているって大事だね

文化をつたえる 子ども芸術祭

私が知っている地域のストーリーや伝統を
地域の大人が子どもに伝える場があると
世代に残していけるね

うるおす

～芽生えた種をみんなで育てる～

お友達といっぱい遊ぶ

1人よりも2人、2人よりも3人、
たくさんのお友達といっぱい遊べると
嬉しいな♪

給食で届く みんなのハート

農家さん、つくってくれる人、
給食に関わる人の想いが届くと
豊かな給食の時間をつくれるかも

多世代で交流しよう

地域行事に参加したり、
他の世代の人とゆんたくしたり。
他の世代の人と交流すると
地域の絆が深まるね

ハートの出会いが 生まれるお手伝い

ハートのまちだからできる
「お見合い大作戦」や「素敵な婚姻届」。
たくさんのお手伝いが
できたら楽しそう

誰もが参加できる 安全・安心なまちづくり

犬の散歩や庭の水やり、
日常のちょっとしたことの時間を合わせる
だけで防犯につながるね

知恵を合わせて みんなが暮らしやすいまち

「困っていること」の解決策や
「浮かんだアイデア」の実現方法は
一人じゃなくてみんなで考える。
そんな話ができる場があればいいな

みんなが集える なんじい広場

ドライブインシアター、キャンプ、運動会、
たくさんのお手伝いをみんなでつくれる
空間があると楽しそう

地域経済を豊かにする 異業種の融合

漁業と農業と観光が融合して新商品や
新サービスの開発みたいに他業種と協力すると、
新しい産業が生まれて経済が潤うかも!?

てらす

～育てた取り組みが大きく育つように光をあてる～

みんなのハートが あふれる地域

心あたたまるエピソードを発信したり、
地域に貢献した人を感謝したり。
自分の周りがあるハートを見える化して
発信したらあたたかいまちになりそう

ハートのまちづくりは みんなで応援

心地の良いまちをつくるために
頑張っている人をみんなで応援したり
表彰することって大事だね

ハートのまちのPR

南城市の美味しいものや、
あたたかい市民、魅力ある取り組み。
ハートのまちにあるたくさんの魅力を
市民みんなでPRするっておもしろそう

ハートのまちの 広報誌

ありがとうのメッセージ、
地域みんなの想いが見える。
そんな広報誌でみんなの心をあたためたいね

私から笑顔を発信

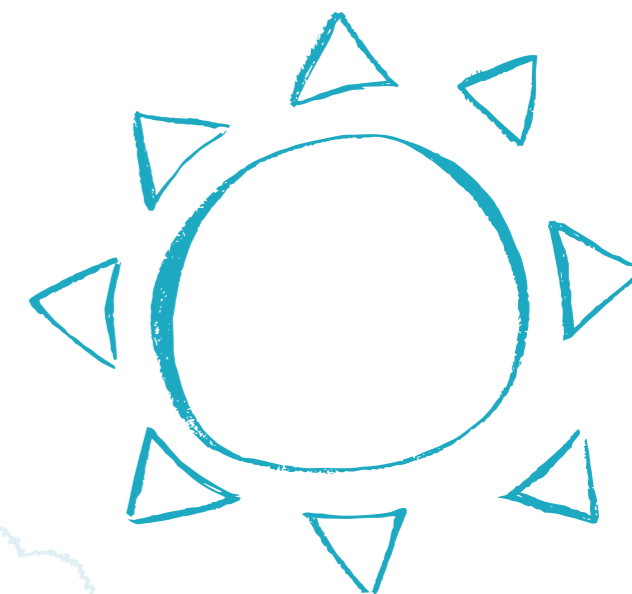
ハートのまちで笑顔をふやす。
笑顔が伝播するって素敵だね

空からハートのカタチを 体感しよう！

夜になるとハートの形が浮かび上がるような
イベントをして、ハートの市域が
実感できたら面白いね

南城市での思い出を ふやそう！

家族3世代での農業・漁業体験や収穫祭、
ママカフェ、お泊り会。
思い出の数だけ南城市が好きになるね



第2章 ハートのまちづくり計画

計画の位置づけと方針

(1) 計画づくりにあたっての背景

2006年1月1日、琉球開闢にまつわる伝統的な祈りの文化を持つ4つの町村が合併し、市域が「ハートの形」をした南城市が誕生しました。本市は、ハートをコンセプトにし、各地域にある多くの地域資源、特製を活かしたまちづくりや、南城市民としての誇り、市民の一体感の醸成に取り組んできました。

2011年度には、ハートをモチーフとした市のロゴマークや、市のイメージキャラクター「なんじい」が産声を上げるとともに、8月10日(ハートの日)を南城市市民平和の日と定め、県内外、国外において南城ハートブランドのイメージが徐々に定着してきました。

市民平和の日は、市民のみなさんと共に、愛する郷土に誇りを持ち、「愛、真心、感謝、笑顔、思いやり」などのハートあふれるまちにしたいという思いから、毎年活動を展開し、2015年度には、「ハートのまち宣言」を市民のみなさんと共に発表しました。

また、南城市では、2015年度に「南城市人口ビジョン」ならびに「南城チャーGANJU創生戦略」を策定し、その中で「ハートのまち♥南城」ファンの育成が基本的方向性のひとつとしてうたわれています。

そして、今年度より戦略的かつ計画性を持ち市民平和の日に込めた想いの市民への普及や、市民としての誇り、アイデンティティの醸成を実現するために、今後の取り組みについての基本計画を策定しました。

● 南城市 ロゴマーク



● 南城市 イメージキャラクター「なんじい」



(2) 計画の目的

市民平和の日に込めた想いを市民に普及させ、市民がハートのまちの市民として誇りと愛着を持ち、住んでみたい・住み続けたい南城市をつくりあげるとともに、市民自身が主体的にハートのまちをつくりあげていくための行動をすることを目的としています。

(3) 計画策定における戦略

「平和」という言葉は、固定的なイメージの強い言葉であり、ハートという言葉に、平和へのメッセージを込め象徴的に使っていくことで、市民にとって親しみやすく、受け入れやすいものとします。

市民平和の日では、単発でイベントを実施するだけでなく、ハートのまちを普及させるとともにハートのまちの象徴となる戦略的位置づけを持たせた一連の取り組みとすることにより、様々な運動性を持たせ、波及効果を大きくします。

コラム 1

南城市市民平和の日

8月10日は、南城市市民平和の日。みなさんは、どんなときに「平和」を感じますか。南城市の市民平和の日は、2011年に定められ、愛や真心、感謝等、平和を目指すために必要不可欠な要素である「ハート」をシンボルとして発信をしています。

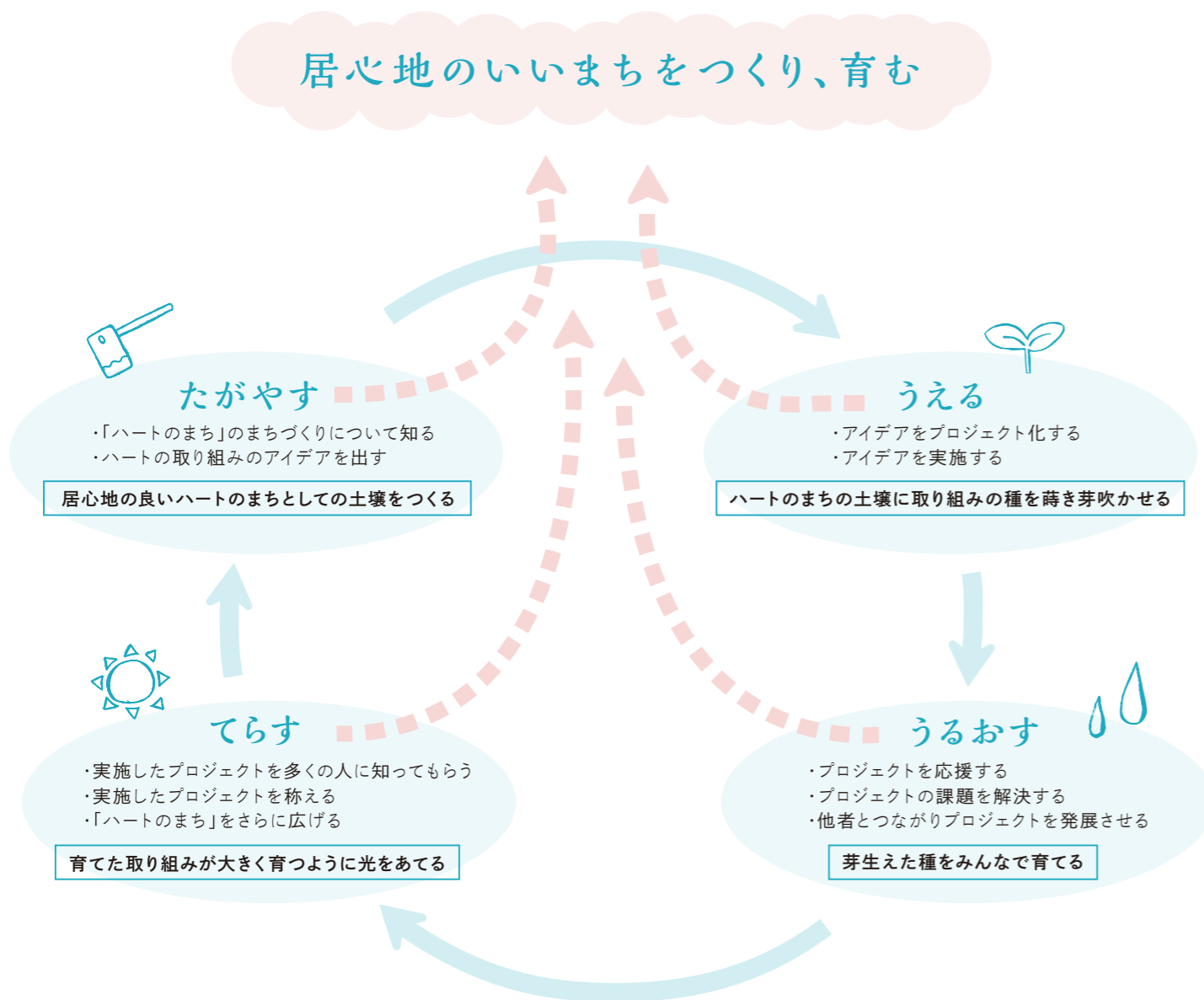
語呂合わせでハートの日となる8月10日に定められるまでに、検討委員会では、様々な議論がありました。平和という「反戦平和」が浮かぶのは、私たちウチナーンチュにとって当たり前のことかもしれません。では、戦争のない今の社会は平和でしょうか。

南城市の目指す市民平和の日は、もちろん反戦平和も含みながら、戦争・紛争などの武力に特化せず、現代社会で起こるあらゆる脅威を取り除き、身近な家族や地域を愛することが平和な世界に繋がるという趣旨の基で定められています。

ハートのまちをつくるための理念と方針

(1) 計画の構成

本計画は、その目指す姿である理念、そして理念を実現するための4つの方針、また方針に基づいたみなさんのアクションで構成しています。今後、私たちが「ハートのまち」をつくるためのアクションを生みだしていくための指針として理念と方針をご活用ください。



(2) 理念に込めた思い

理念 居心地のいいまちをつくり育む

～ハートがたくさん実るまちにしよう～

南城市に住んでいる私たちも訪れた人も誰もが心落ち着けるそんなまちにしたいと願っています。それは、多様な人がお互いに大事にされ、南城市にいる誰もがあたたかい心を持ち、自然、人がハートで繋がることで実現していくのだと考えています。

まちは1日や2日で作られるものではありません。これまでの南城市の歩みにおいて、少しずつ育まれてきたものがたくさんあります。これから生まれてくるものもたくさんあるでしょう。「これまで育まれてきたものと未来に生まれてくるものを植物のように大切に育てながら、より素晴らしいまちをつくっていきたい」— そんな思いを込めて、本計画における理念は、「居心地のいいまちをつくり育む～ハートがたくさん実るまちにしよう～」とすることになりました。

(3) 方針に込めた思い

方針1 たがやす 方針2 うえる 方針3 うるおす 方針4 てらす

理念を形にするためには、持続しながらかつ発展するアクションであることが大切です。例えば「家族を大切にする」「思いやりの心を育てる」「地域で支え合う」といった行動は一度やればそれで終わりということはありません。また、いつも同じことをしていれば良いというものではなく、状況や各々の段階において発展していくことが重要です。自分のアクションがどの段階にいるのかを確認しながら、未来に向けて行動を発展させていく。それと共に南城市が発展していくのが見える。そんな方針でありたいとの思いが込められています。

その思いと、「植物を育てる」というイメージを足して生まれたのが「たがやす」「うえる」「うるおす」「てらす」の4つの方針です。これらは方針であると同時に自分のアクションがどの段階にいるのかを確認するための指標にもなっています。この指標に沿ってみなさんのアクションも成長させていただけることを願っています。

計画の推進

このハートのまちづくり計画を推進するにあたり、最終的には多くの市民がハートのまちの市民として誇りと愛着を持ち、様々なアクションを起こしていくことを目標とします。それを実現するために、市民・行政ならびに事務局がそれぞれの立場・役割の中で主体的に行動し、徐々にハートのまちづくりの和を広げ、ハートのまちとしての市民の機運を高めていきます。

8月10日南城市市民平和の日は、南城市のハートのまちづくりにとって象徴的な日になります。多くの市民にハートのまちづくりについて知っていただく「たがやす」の役割、ハートのまちづくりの推進を担っている市民や団体にスポットを当てる「てらす」の役割はもちろん、多くの人が参加しこの南城市市民平和の日をつくりあげていくことが「うるおす」の役割ともなります。

(1) 役割

市民の役割

南城市のハートのまちづくりの主役は市民です。

市民がハートのまちとして南城市に愛着を持つこと、市民がハートのまちの市民としてアクションを行っていくこと、そういった南城市を目指していきます。

行政の役割

行政の役割は施策を通じて、広く市民にハートのまちを普及することです。

多くの市民にハートのまちのコンセプトが伝わるよう、より多くの部・課の事業をハートのコンセプトと連携させていきます。

事務局の役割

事務局の役割は、市民・行政がハートのまちづくりアクションを行いやすい環境づくりをしていくことです。市民や行政が参加する仕組みづくりや、利用しやすいツールづくり、普及・啓発などを行います。

(2) プロジェクト推進のサイクル

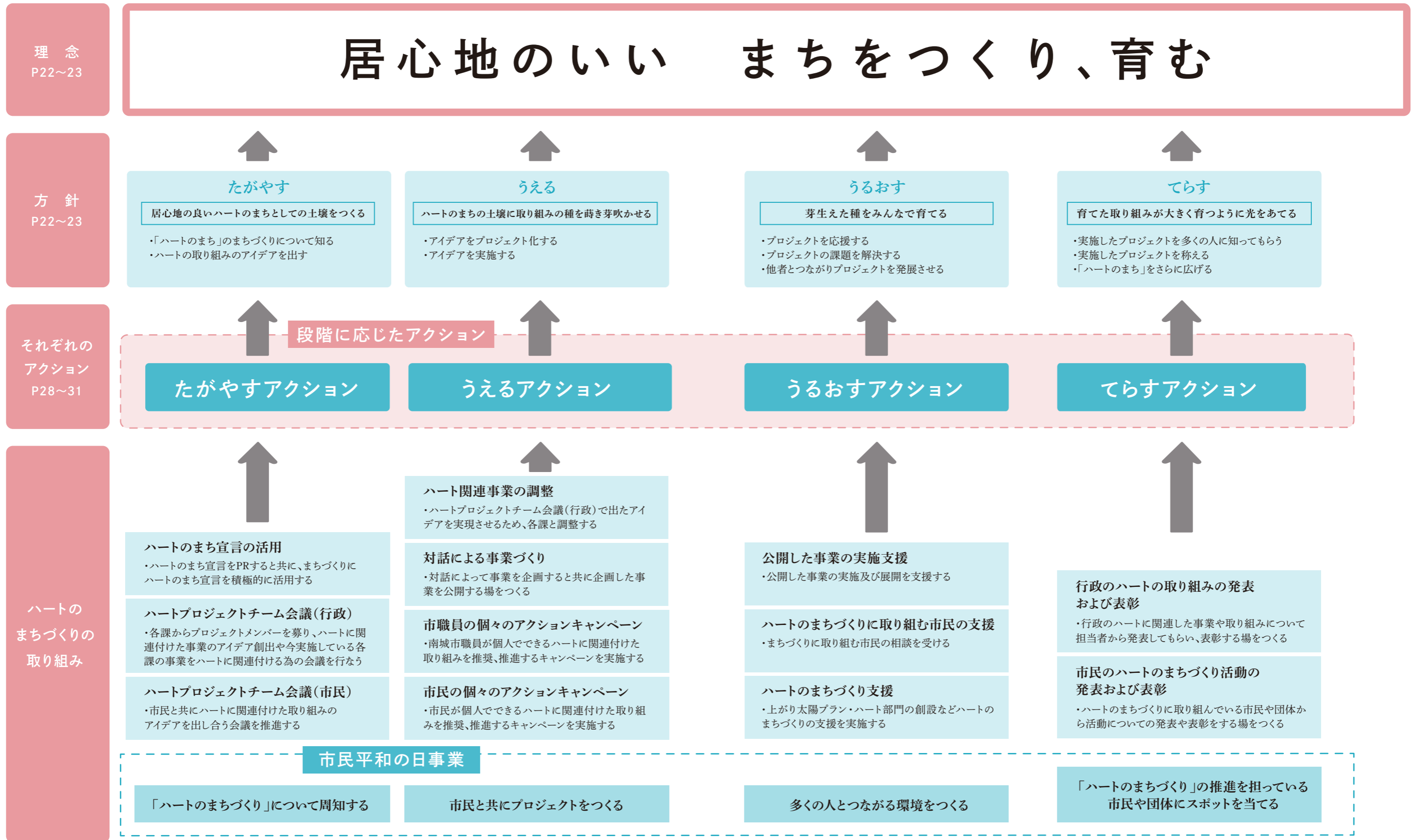
ハート関連事業の実現は、4年間を1サイクルとして実現していきます。1サイクル終了時には事業実施内容の振り返りを行うと共に次のサイクルに向けての見直し、2028年まで実施します。1サイクル目にあたる2020年までに取り組む予定の事業は次の事業となります。

● 2020年までに取り組む事業(予定)

- ハートプロジェクトチーム会議(市民)
- ハートプロジェクトチーム会議(行政)
- ハートのまち宣言の活用
- 市民の個々のアクションキャンペーン
- 市職員の個々のアクションキャンペーン
- 対話による事業づくり
- ハート関連事業の調整
- ハートのまちづくり支援
- ハートのまちづくりに取り組む市民の支援
- 公開した事業の実施支援
- 市民のハートのまちづくり活動の発表および表彰
- 行政のハートの取り組みの発表および表彰
- 南城市市民平和の日事業



計画の体系図



それぞれのアクション(市民)

(1) 市民により実現するハートのまちづくり

本計画が推進されることで実現される市民の形

- ①市民がハートのまちの市民として誇りと愛着を持ち、住んでみたい住み続けたいと思う南城市であること
- ②市民自身が主体的にハートのまちづくりをつくりあげていくための行動をおこし、様々な取り組みに参加し、市民参加のもとハートのまちづくりが実現されていくこと。

(2) 市民のアクション例

① ひとりでできるアクション

- ・挨拶をする
- ・地域の行事に参加する
- ・日常的に草刈り、ゴミ拾いをする
- ・一人ひとりがわくわくすることをやる
- ・みんなが笑顔で過ごす

② みんなでできるアクション

- ・子どもが行きたくなるような取り組みを考える
- ・多世代交流で知恵(知識)の交換をする
- ・地域の子供は地域みんなで子育てをする
- ・地域で頑張っている人を応援、表彰する

③ 協働によるアクション

- ・自分ができることを活かしてプロジェクトに参加する
- ・「地域のため」「社会のため」ということを意識してプロジェクトに参加する
- ・多くの人と協力して居心地の良いハートのまちをつくりあげる

それぞれのアクション(行政)

(1) 行政により実現するハートのまちづくり

本計画が推進されることで実現する行政の形

- ①ハートのまちのコンセプトを、各課の施策とハートと関連づけて実施することを通じて市民に発信する
- ②行政職員一人ひとりが主体的にハートのまちの職員としての意識を持って行動する
- ③ハートのまちづくりをおこなう様々なアイデアが職員から出され、それが実現していく

(2) 行政のアクション例

① ひとりでできるアクション

- ・ハートのまちの行政職員であるという自覚を持って、市民に笑顔で明るく対応する
- ・一人ひとりがハートのまち南城市をPRする
- ・ハートのまちづくりのわくわくするアイデアを考える

② みんなでできるアクション

- ・様々な事業を通じて、ハートのまちのコンセプトを市民に発信する
- ・がんばっている市民を応援、表彰する
- ・ハートのまちの実現にむけて、事業を通じて市民の行動を促す

③ 協働でできるアクション

- ・市民が参加・活動しやすいような環境づくりをする
- ・市民と一緒に事業を企画し、実施する
- ・多くの人と協力して居心地の良いまちづくりをつくりあげる

それぞれのアクション(事務局)

(1) 事務局により実現するハートのまちづくり

ハートのまちづくりを実現するにあたって、事務局は行政と市民、行政の各部各課などの様々な人たちと連携してコーディネーターとしての役割を担います。

(2) 事務局のアクション

① ハートのプロジェクトチームづくり

ハートのまちづくりを推進するためのプラットフォームとなるハートプロジェクトチームを立ち上げ、行政や市民の方々とハートのまちづくりのアイデアを創出し、事業を具体化するためのチームをコーディネートします。

② ハートの事業実現のコーディネート

ハートプロジェクトチームで生まれたアイデアを具現化するため、行政の各課や市民と調整します。事業実施の主体は行政の各部各課及び市民となりますが、事務局ではその後押しとなるサポートを行います。

③ 個々人のハートのアクション推進

市民、各課の個々人が気軽にハートに関する取り組みができるよう、個人単位で取り組むことができるハートのアクションの実施を推奨します。

④ 普及広報

行政職員や市民が、ハートのまちについて知り、アクションを起こしていくための普及広報を行います。アクションキャンペーンの仕掛けや、PRツールの制作などを行います。また、ハートのまち宣言のPRや活用を働きかけます。

⑤ ハートのまちづくりの支援

ハートのまちづくりに取り組む行政の各部各課や市民が、よりその取り組みを発展させられるよう、支援やマッチングなどのコーディネートを行います。

⑥ 市民平和の日のコーディネート

南城市市民平和の日を実施するにあたり、行政や市民のハートのまちづくりに関する事業や取り組みの連携のためのコーディネート、協働による企画のコーディネートなどを行います。

⑦ コーディネーター機能の強化

ハートのまちづくりを推進するためのコーディネーター機能の強化として、ニーズへの対応や調整、相談、企画立案など、まちづくりを応援するための仕組みを整備します。

コラム 2

コーディネーターとは

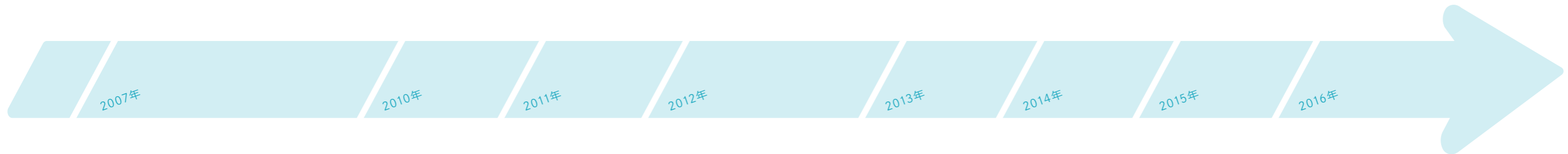
コーディネーターは、物事の目的を達成すると共に、関係者のニーズやスキルの調和によって関係者が最大の成果を得ることができるよう支援・調整する役割を担います。その活動は、関係者のニーズやスキルを把握し適切に結びつけることや関係者の協力によるエンパワメント、課題の発掘から解決までのプロセスマネジメント等多岐にわたるため、数多くのことが求められるといわれています。

こうした活動を円滑に効果的に進めるには、決まった型にはめるのではなく、一つひとつのニーズに寄り添いながらつくりあげていくことが重要だということも忘れてはいけません。コーディネーターとして活動する時は、スキルのみならず関係者に寄り添うという姿勢も大切にしたいものです。

求められる能力

1. コミュニティとのコミュニケーション能力とニーズに対する柔軟な対応能力
2. 相談しやすい環境をつくりだせる能力
3. 地域やプロジェクトの課題を発掘し、それを解決する能力
4. コーディネーターとしての公正な判断力
5. 予算計画の立案、実行、見直し等ができる能力
6. 人をつなげる企画を立案、実施する能力
7. ハートのまちづくりを広く一般に啓発する能力

これまでの歩み



2007年度

- 南城市非核平和都市宣言

2010年度

- 「平和市長会議」への加盟

2011年度

- 戦後65周年・南城市市制施行5周年 記念写真展「笑顔が戻った日in南城市」
- 8月10日を南城市市民平和の日として制定

2012年度

- 南城市市民平和の日制定記念事業2012～音楽と写真でつながる～
・心ぼっかぼかコンサート
・笑顔の写真展

2013年度

- 南城市市民平和の日制定記念事業2013
～ハートのまち!南城市から結び ひろげる ころの平和～
・水谷修氏による講演「夜回り先生 いのちの授業」講演会
・「ふじ学徒隊」「うまれる」上映会

2014年度

- 南城市市民平和の日制定記念事業2014 ～ハートのまちから広げるハートの想い～
・お笑い米軍基地(FEC)上演
・笹の葉プロジェクト・チョークArt

2015年度

- 南城市市民平和の日平和発信プロジェクト事業 ～きざぎ・考え・つなぐ ハートの想い～
・810ライブ2015
・アブチラガマ平和学習体験会
・810ラジオ
・子ども達でつくるハートのまち劇WS
・ハートのまち宣言策定、発表

2016年度

- 南城市市民平和の日平和発信事業 なんじょう810プロジェクト
～8月10日の市民平和の日からはじまる、平和を育み 未来を考える 対話の取組～
・810シネマ「ふるさとがえり」上映会
・アブチラガマ平和学習体験会
・810シネマ+マルシェ
・ハートのまちづくりコンセプトブック策定



2011年度 戦後65周年・南城市市制施行5周年 記念写真展



2014年度 笹の葉プロジェクト・チョークArt



2015年度 ハートのまち宣言策定



2012年度 心ぼっかぼかコンサート



2014年度 笹の葉プロジェクト・チョークArt



2015年度 ハートのまち宣言発表

コラム 3

ハートのまち宣言



- ① は はじまりの地、南城は
- ② あ あ東四間切(あがりゆまじり)がひとつとなった特別な形
- ③ と 永遠(とわ)につなげる感謝の祈り
- ④ の 昇る朝日がみんなを照らし
- ⑤ ま 交わり広げる支えあい
- ⑥ ち 地域で育むハートのまち

宣言文は、公募により集まった市民によりつくられたものです。「は・あ・と・の・ま・ち」を頭文字に、南城市の歴史、独自性、多様性、愛、ライフスタイルを6行に凝縮しました。宣言文を考える全5回のワークショップでは、最初にメンバーが直面したのは「ハートのまち」というひとつの言葉が、人によってイメージが異なるということでした。ある人は、福祉を、ある人は反戦を、ある人は家族愛をイメージしていました。それらをどう集約し、宣言文にまとめるか。発表の期限が迫る中、対話は深夜にまでおよびました。それぞれの思いを表明し、ときに尊重し合い、ときに自らの考えを改める…。一字一句を調整していく対話の過程こそ、平和を創造していく姿勢だったのかもしれませんが。結果的に、南城が琉球開闢の地であるという原点、ハートの形になった必然的な意味、過去から現在へ受け継がれる祈りの精神性、上がり太陽の光の中で、多様性を認めつつ助け合っていく地域の姿を表した宣言文になりました。地形だけでなく、先人から受け継いだ思いやりや精神性こそハートのまちのあり方であることを示しました。メンバーのひとりが述べた感想です。「違いを認め合えた。みんなが生んだ言葉が繋がってよかった。」

ハートのまち これからの未来



2017 ~ 2020年度

実施する取り組み

- ハートプロジェクトチーム会議(市民)
- ハートプロジェクトチーム会議(行政)
- ハートのまち宣言の活用
- 市民の個々のアクションキャンペーン
- 市職員個々のアクションキャンペーン
- 対話による事業づくり
- ハート関連事業の調整
- ハートのまちづくり支援
- ハートのまちづくりに取り組む市民の支援
- 公開した事業の実施支援
- 市民のハートのまちづくり活動の発表および表彰
- 行政のハートの取り組みの発表および表彰
- 南城市民平和の日事業

ハートプロジェクトの数

10プロジェクト

※2020年に実施内容の振り返り及び計画の見直しを行います。

2024年度

ハートプロジェクトの数

22プロジェクト(延べ)

ハートのまちづくりに関わる市民の人数

5,000人(延べ)

2028年度

居心地のいいまち南城市となるよう期待すること

住んでいる私たちが誇りを持ち、安心してらせる南城市になるよう、市民と行政がお互い対等の立場で、共に企画を練り、共に事業を実践していくことで、市民活動がより楽しく、取り組みやすくなることを目指します。

ハートプロジェクトの数

35プロジェクト(延べ)

ハートのまちづくりに関わる市民の人数

20,000人(延べ)

「ハートのまちづくりの取り組み」を実施するにあたって

ハートのまちづくりは、多くのおみなさんとともに進めていく必要があります。そのため多くの方々が、ハートのまちづくりに関心をもったり想いが形になるように、段階に応じた取り組みを実施していくことが大切です。

参加したい方ができることから始めてみることで、多くの行動が生まれ、想いが形になり、「居心地の良いまちをつくり、育む」ことにつながっていくのです。

コラム 4

南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略



南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略は、2040年度までの南城市人口ビジョンをもとに、地域の実情に応じた今後5カ年の基本目標、施策の方向性や具体的な取り組みを示すとともに、個別の数値目標や重要業績評価指標(KPI)を掲げるなど、より積極的な行動計画です。

南城市は、この創生戦略の策定にあたり、「しごと」「ひと」「まち・コミュニティ」「まち・社会基盤」の4分野で整理し、これまで取り組んできたまちづくりも踏まえつつ、本市の新たな段階へ挑戦するために、チャレンジ性のある新たな取り組みなどを中心に、アクションプランとして取りまとめました。

※「ちゃー」とは、沖縄方言で「ずっと」という意味、継続的なまちづくりの推進を示す。

「GANJU(がんじゅう)」とは、健康で頑丈を意味し、同時に「(G)元気で、(A)明るく、(N)仲良く、(J)ジンプン:知恵ある、(U)ウツチ:万人」の社会、まちづくりを示す。

評価・チェック方法（市民）

(1) 基本方針

市民の評価は下記チェックリストを用いた定性による評価を行います。
市民の評価は自己評価とし、市民が自分自身でハートのまちづくりに対する関心度を数値として振り返ることを目的としています。

(2) 評価の方法

ハート市民度数チェックリスト（100点満点評価）

チェック項目	チェック	点数
出会った人に笑顔で挨拶をしたり話しかけたりした		3点
ゴミを拾ったり、花を植えたりしてまちをきれいにした		3点
南城市や地域の行事に参加した		3点
自分がワクワクすることに取り組んだ		3点
他のまちの人に南城市をPRした		3点
他の世代の人と交流した		5点
ご近所の人と仲良く過ごした		5点
地域の人たちと協力して地域の行事を実施した		5点
困りごとをみんなで助け合って解決した		5点
ムラヤーを利用してみんなが集まれる場をつくった		5点
ハートのまちづくりに関する取り組みに関する情報を受け取った		10点
ハートにまちづくりの取り組みのアイデアを誰かと話し合った		10点
ハートのまちづくりに関する取り組みに参加した		10点
ハートのまちづくりに関する取り組みを実行した		15点
市民平和の日事業に参加した		15点

(3) 評価の見直し

本計画の進展に伴い、ハートのまちづくりへの市民の参加の機会や関わりの方法が増えていくことを想定しています。それに応じて、市民のハート度数をはかる基準について見直していく予定です。

評価・チェック方法（行政）

(1) 基本方針

本計画をすすめるにあたって、定性・定量両面からの評価を行います。
評価は、年度末ごとに事務局が調査し、4年ごとに取りまとめ評価します。

(2) 評価の方法

① 定性評価

各課が実施する各事業における本計画への踏み込み度を定性的に評価

評価項目	項目の詳細
たがやす事業	・ハートのまちづくりについて市民に発信する要素が入った事業 ・ハートの取り組みのアイデアを出す要素が入った事業
うえる事業	・ハートに関連付いたプロジェクトを立ち上げる要素が入った事業 ・ハートの要素が含まれた取り組みを実施する要素が入った事業 ・市民と共にハートのプロジェクトに取り組む要素が入った事業
うるおす事業	・市民のハートの取り組みやプロジェクトを応援する要素が入った事業 ・市民の取り組みの課題を解決する要素が入った事業 ・実施中のハートに関連付いた取り組みを発展させる要素が入った事業
てらす事業	・実施したプロジェクトを周知する要素が入った事業 ・実施したプロジェクトおよび実施者を称える要素が入った事業

② 定量評価

・ハート関連事業数

上記①の定性評価における、いずれかに合致する事業の数を評価

・ハート関連事業を通じて関わった市民の数

ハート関連の各事業において、関わった市民の数を評価

(3) 目標設定

本計画の推進にともなう目標として、2028年にハート関連事業数30、ハート関連事業に関わった市民の数のべ20,000人を目標として事業に取り組みます。
4年ごとに、中間の評価及び目標の見直しを行います。

与件・状況

南城市は、合併し市域が「ハート型」になったことに着目し、なんじょう♥ハートプロジェクトを立ち上げました。ハートから連想される真心や愛、平和、信頼、感謝など、南城市の豊かな未来と世界の人々の幸せを願う思いを「ハートの市域」に込め、新たな南城ブランドのイメージを確立し、さまざまな分野での活用による地域や産業の活性化、市民としての誇りやアイデンティティの醸成に資する取り組みを行ってきました。

2011年度には、8月10日（ハートの日）を南城市市民平和の日として定め、毎年事業を開催する中で、人と人とのつながりの大切さに改めて気づき、考えるきっかけを創出してきました。

そして、市政10周年を経ていま私たちは、ハートにあふれた南城市の未来をつくるために、行動する段階になりました。今年度（2016年度）は、8月10日のイベントだけでなく、今後の基本方針を市民とともに作りあげるための基本計画の策定をおこなってきました。

市民と行政が共に未来を描き、ハートのまちづくりを進めていくことは、形だけではなく、市民一人ひとりの心が平和になり、お互いを助け合う、本当の意味での「ハートのまち」を目指す上で、とても重要なこととなります。

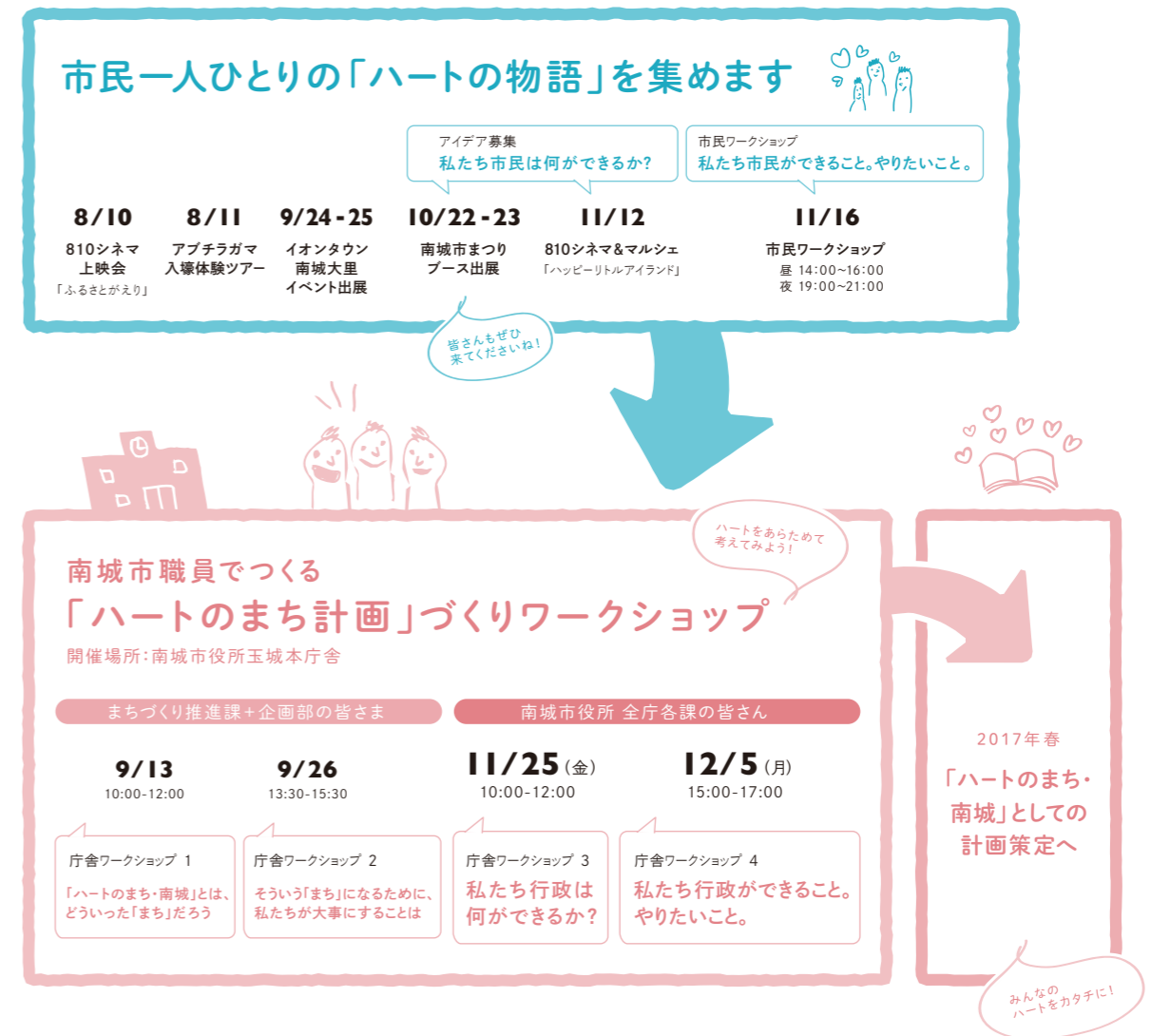
第1章では市民から集めた思いをもとに、南城市の未来を創造し、第2章では「ハートのまちづくり計画」と題して、市民、行政それぞれの意見をあつめ協働して作成しました。

2016年度 計画づくりの過程

2016年8月10日の「810シネマ」を皮切りに、様々なイベントを通して、南城市民のみならず「こんな南城市になったらいいな」との想いの「ハートの物語」をあつめました。それをもとに、それが実現するためにできることと題した「ハートのアクション」も集め、最終的には市民ワークショップを開催しました。

南城市役所の庁内のみなさんは、市民からの意見をもとに4回のワークショップを通して、基本理念や基本方針などを考え、「ハートのまち コンセプトブック」は完成しました。

●「ハートのまち コンセプトブック」計画づくり策定までのスケジュール



計画づくりのための制作物

● 市民向けステイトメント

なんじょうをハートでいっぱいにして！

南城市はたくさんの「ハート」が、日常にあふれているまち。
南城市らしい「ハート」の物語をみつけ、物語がたくさん生まれていくためのアクションをみんなで考えていませんか？

市民向けステイトメント	市民向けステイトメント	市民向けステイトメント	市民向けステイトメント	市民向けステイトメント	市民向けステイトメント
8/10 (水)	8/11 (木)	9/24 (土)・25 (日)	10/22 (土)・23 (日)	11/12 (土)	11/16 (水)
810シネマ	アプラガマ入場	イオン810	南城市まつり	市民向けワークショップ	市民向けワークショップ

(表)

一人ひとりの「ハート」が、「平和」な南城をつくる。

南城市で生活する一人ひとりが「ハート」でつながる。そんな南城市らしい「ハート」の物語をみつけ、物語がたくさん生まれていくためのアクションをみんなで考えていませんか？

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます
9/24 (土)・25 (日)	10/22 (土)・23 (日)	11/12 (土)	11/16 (水)
イオン810	アプラガマ入場	イオン810	南城市まつり

(裏)

● 庁内向けステイトメント

一人ひとりの「ハート」が、「平和」な南城をつくる。

南城市で生活する一人ひとりが「ハート」でつながる。そんな南城市らしい「ハート」の物語をみつけ、物語がたくさん生まれていくためのアクションをみんなで考えていませんか？

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます
8/10	8/11	9/24-25	10/22-23
810シネマ	アプラガマ入場	イオン810	南城市まつり

(表)

一人ひとりの「ハート」が、「平和」な南城をつくる。

南城市で生活する一人ひとりが「ハート」でつながる。そんな南城市らしい「ハート」の物語をみつけ、物語がたくさん生まれていくためのアクションをみんなで考えていませんか？

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます
8/10	8/11	9/24-25	10/22-23
810シネマ	アプラガマ入場	イオン810	南城市まつり

(裏)

● ハートのまちなんじょう「まちづくり計画」庁内向けワークショップ通信 No.1

一人ひとりの「ハート」が、「平和」な南城をつくる。

南城市の市民のみなさまにご参加いただき、「ハートの物語」を「集める」ことで、「まちづくり計画」をつくるためのアクションをみんなで考えていませんか？

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます
8/10	8/11	9/24-25	10/22-23
810シネマ	アプラガマ入場	イオン810	南城市まつり

(表)

一人ひとりの「ハート」が、「平和」な南城をつくる。

南城市の市民のみなさまにご参加いただき、「ハートの物語」を「集める」ことで、「まちづくり計画」をつくるためのアクションをみんなで考えていませんか？

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます

市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます	市民一人ひとりの「ハートの物語」を集めます
8/10	8/11	9/24-25	10/22-23
810シネマ	アプラガマ入場	イオン810	南城市まつり

(裏)

市民のみなさんにご参加頂いたワークショップ

● 8/10 810シネマ「ふるさとがえり」上映会



● 8/11 アブチラガマ入塚体験



● 9/22-23 イオン810ストーリー



● 10/24-25 なんじょうアクションまつり①



● 11/12 810シネマ+マルシェ(なんじょうアクションまつり②)



● 11/16 市民ワークショップ

【昼の部】



【夜の部】



庁内のみなさんにご参加頂いたワークショップ

● 9/13 第1回庁内ワークショップ(企画部)



● 9/26 第2回庁内ワークショップ(企画部)



● 11/25 第3回庁内ワークショップ(全課)



● 12/5 第4回庁内ワークショップ(全課)



あとかき

あしがき

居心地の良いまちをつくり、みんなで育てて行きたい。小さな幸せの種をこつこつ蒔き、育てていくことが一人ひとりの平和、家族の平和、南城市の平和につながっていく。平和は、特別なものではなく、ちょっとした日々の隠れた幸せに気づくこと。その気づきを言葉にし、互いにわかり合い、みんなで一緒に南城市の未来をつくる。

そんな思いを込め、多くの市民の皆様にご参加いただき、このハートのまちづくりコンセプトブックの策定を進めてまいりました。

2006年1月1日、琉球開闢にまつわる伝統的な祈りの文化を持つ4つのまち（東四間切）が合併し、「ハートの形」をした南城市が誕生しました。南城市は、豊かな自然、個性あふれる伝統芸能、琉球開闢神話にまつわる多くの史跡や聖地に恵まれています。また、これらの財産を守り育ててきた市民の営みは、南城市の大きな原動力であり、現在、これらの財産・魅力を最大限に活かしたまちづくりを展開しております。

2011年度には、ハートブランドイメージの確立をし、産業・地域の活性化の起爆剤になるハートをモチーフにしたロゴマークや南城市キャラクター「なんじい」が産声をあげました。また、市民としての誇りやアイデンティティの醸成に資するため、8月10日を市民平和の日と定め、ハートを平和のシンボルとして発信を行い、南城市民にとって、とても大切な日となりました。

このハートのまちづくりコンセプトブックは、市民の皆様々の未来を想う声を参考に、「平和な社会とはなにか」「どうすれば平和な社会になるのか」「自分にできることはなにか」を、家族や友人などで考え、話し合い行動していくアイデアがたくさん掲載されています。

未来のしあわせのために「できることから、やってみよう!」と想うことで、ハートの輪が広がっていくと信じております。このハートのまちづくりコンセプトブックと共に、みんなが居心地のよいまちづくりを進めていきましょう。

終わりに、多くの市民の方々に参加していただき、貴重な提言をいただきましたことを、この場をお借りして感謝申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

2017年2月吉日
南城市長 古謝 景春

発行：南城市

平成28年度 南城市市民平和の日 平和発信プロジェクト事業